

きょう、いくつの「橋」を渡りましたか？



宮崎「橋の日」実行委員会

8月4日「橋の日」記念日とは

8月4日「橋の日」は、今から30年以上前、宮崎県延岡市出身で宮崎市在住、当会顧問の湯浅利彦氏が提唱した宮崎発祥の記念日です。

橋とのふれあいをとおして、橋の役割に思いを馳せ、橋に感謝する気持ちをもっていただくことにより、故郷を愛する心を育てたいという想いが「橋の日」提唱の原点です。

私たちが日頃、何気なく利用している橋、どの橋も先人たちが苦勞してつくり、私たちに残してくれたまさに汗の結晶ではないでしょうか。

これらの橋は、人と人、地域と地域を結ぶとともに、人や物、そして心や文化を渡し、そしてまた、まちや地域の景観に溶け込んで心を癒してくれるなど、まさに「架け橋」となって私達に大きな恩恵を与えてくれています。橋に感謝し、地域を見つめなおす「橋の日」としたいと考えています。

会長 大田原 宣治



「橋の日」の目的

- かけがえのない橋とのふれあいの日として、人と人、地域と地域をつなごう
- イベントをとおして、道路・河川の愛護や潤いのあるまちづくりなど郷土愛を深めよう

「橋の日」提唱に寄せて

毎年8月4日に全国各地で行われています「橋の日」のイベントを提唱し、その推進拡大のため全国を活動中の湯浅です。

私は、宮崎県北部に位置する水の郷、延岡市で生まれ育ちました。自宅近くを五ヶ瀬川の派流、大瀬川が流れていたこともあり、川は私にとって子どもの頃の大切な遊び場となりました。

いまでは50年程前の懐かしい思い出となりましたが、近所の仲間と魚を捕ったり泳いだりと、毎日カッパのように遊んでいました。当時の川は、きれいな水が豊かに流れ、鮎などたくさんの魚が生息する楽園でした。そこには、台風のたびに壊れるひ弱な木造の大瀬橋と、少し下流にはびくともしない頑丈なコンクリート造の安賀多橋が架かっており、その橋も子どもたちの格好の遊び場となっていました。

このような環境で育った私は、年を重ねるごとに“橋への熱い思い”と“感謝の気持”が芽生えてきたように思います。木造の大瀬橋が流され、町が分断されたときの不便な経験に、改めて橋の存在の大きさとありがたさを子ども心に教えられました。

自身の体験のもと、近年の社会や環境の変化に、川と橋に関心を持つ必要性を感じ「郷土のシンボルである河川とそこに架かる橋を通して、ふるさとを愛する心の高揚と河川の浄化を図ろう」と1985年9月に「橋の日」を提唱、1994年8月4日には「橋の日」が日本記念日協会から記念日として認定されました。

「橋の日」の活動をする中で、全国には歴史的・文化的に優れた橋、最新技術を駆使した近代的な橋など“名橋”の多さに驚かされています。橋には、木橋・石橋・コンクリート橋・鋼橋等さまざまな種類があり、水路にひっそり架かる小さな橋から、海を越えて架かる雄大な長大橋までその規模もさまざまです。

橋は生活と文化を支える…と一般的に言われますが、橋には浪漫があって目に見えない何かがあるように思えます。それぞれの人にそれぞれの思いの橋があるうかと思いますが、8月4日の「橋の日」には身近な橋に思いを巡らせてみてはいかがでしょうか…。

2006年10月1日

「橋の日」提唱者 湯浅利彦

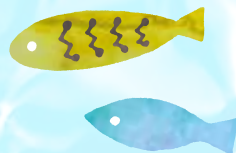


1986年8月4日、宮崎県延岡市大瀬川にかかる『安賀多橋』で行われた、第1回延岡「橋の日」は大成であった。



全国の「橋の日」の取組

- 橋・河川の清掃
- 橋のスケッチ大会
- 橋の見学会や講演
- 橋の点検
- 割箸で橋をつくるコンテスト
- ウォーキング大会やスタンプラリー
- 橋上“餅つき大会”
(橋の開通、記念日などの祝賀イベント)
- 橋をテーマとした、俳句・短歌・川柳、絵画、作文の募集
- 「橋の日」幟設置 (注意：設置場所により管理者の許可が必要となります)
- その他：橋上大綱引き大会、座談会の開催、兄弟橋の締結、
橋へのライトアップなど



青森県 (鶴の舞橋)



東京都 (日本橋)



山梨県 (猿橋)



滋賀県 (琵琶湖大橋)



京都市 (七条大橋)



兵庫県 (明石海峡大橋)



鳥取県 (コナン大橋)



山口県周南市 (錦帯橋)



福岡県 (名島橋)



長崎県 (長崎眼鏡橋)



鹿児島県 (甲突川・ライオンズ広場)



沖縄県 (明治橋)



宮崎県延岡市 (安賀多橋)



日南市 (夢見橋)



串間市 (福島大橋)



西米良村 (かりこぼうず大橋)

宮崎市での「橋の日」への取り組み

1

8月4日「橋の日」記念イベントの実施



- 橋みがき
- 橋上「点字ブロックの清掃」
(協力：宮崎県鋼橋コンクリート構造物塗装協同組合)
- 橋への献花
- 橋の内部見学会 (協力：国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所)

2

全国・県内外へ「橋の日」記念日の広報活動

- 「橋の日」関連資料の送付
- 「橋の日」幟提供
- 「橋の日」グッズの製作 (帽子、ポロシャツ、タオル)
- 橋の魅力を伝えるパネル展開催
- 地元紙、全国紙への記事提供や
メディアへの情報提供
- ホームページによる情報発信



3

紙芝居や絵本にて橋や地域の魅力を発信

地域の歴史を未来へとつなぐため、「橘橋と福島邦成」や「とんところ地震」の紙芝居上映会をおこなっています。また、「とんところ地震」については、宮崎県との協働で絵本や紙芝居とDVDを製作し、県内の小学校 240 校に寄贈しました。



～ 紙芝居「橘橋と福島邦成」について ～

地域の医師を支援する学校をつくり後進の指導のほか、蒸気船で海運のルートを開いた郷土の医者「福島邦成」は、早くから大淀川に橋をかけることの大切さを唱えていました。そして明治 13 年 (1880)、私財を投げ打って（現在のお金で 5,000 万円）で初代橘橋をかけ、44 万人が利用したといわれています。今の橘橋はそれから 6 代目にあたります。

4

地域のお宝再発見ツアーの実施

宮崎県内はもとより、九州内の土木遺産や歴史遺産を訪ね、地域の方々と交流を深めています。



名島橋のある名島地区との交流会（福岡市）



女神大橋登頂（長崎市）

昭和 62 年 (1987)



宮崎市の橋橋にて、第 1 回「橋の日」イベントを有志メンバーで開催。
(宮崎市役所前広場にて)

昭和 63 年 (1988)



宮崎「橋の日」実行委員会発足。
会長に塩見一郎氏。
(宮崎商工会議所会頭)

平成 5 年 (1993)



「橋の日」シンボルマーク全国公募。
305 点から選定。
(シンボルマーク審査風景)



平成 13 年 (2001)

石橋をまとめたポスター 1,000 枚制作。
県内小中高校他へ配布。



平成 15 年 (2003)

宮崎の橋「101選」2003 ポスター
2,500 枚を製作。県内小中学校他へ配布。

宮崎「橋の日」実 (1987 年～)



平成 26 年 (2014)



宮崎県と協働事業にて「とんとこ地震」紙芝居・DVD 制作。県内全小学校 240 校へ寄贈。

平成 27 年 (2015)



一般社団法人日本記念日協会より「記念日文化功労賞」を受賞。また、永年の道路清掃活動に対し、公益社団法人 日本道路協会より表彰。
新たに 6 県が加わり全国 47 都道府県にて「橋の日」が開催。(全国達成)

平成 28 年 (2016)



活動 30 周年記念事業、「橋」を通じた地域づくりシンポジウム開催。250 名参加。

平成 18 年 (2006)



「橋の日」活動 20 周年記念事業、「橋の日」サミット in みやざき 2006 を開催、180 名参加。

平成 21 年 (2009)



新会長に日高孝氏(元宮崎県土木部長)が就任。

平成 23 年 (2011)



活動 25 周年記念事業、「橋」を通じた地域づくりシンポジウム開催。(250 名参加)



行委員会のあゆみ

~ 2020 年)



平成 23 年 (2011)

宮崎県と協働事業にて「てげ、いっちゃんみやざきの橋」ポスター 2000 枚を製作。
家内小中高校他へ配布。

平成 30 年 (2018)



宮崎県より「明日のみやざきづくり表彰」を受ける。

平成 30 年 (2018)



新会長に大田原宣治氏(元県土整備部長)が就任。

令和元年 (2019)



宮崎県と協働事業にて「とんとところ地震」の絵本 450 冊を制作。

へ 橋 の 日 Q & A

Q. なぜ、「橋」に注目したのですか？

私たちが住むこのまちが好きです。そして、この輪を大きく広げたいと思っています。「橋」には、こころの架け橋、夢の架け橋という言葉があるように、橋にはロマンがあります。身近でみんなが利用する「橋」を通して、街づくりを考えていきたいと考えているからです。

Q. 8月4日を「橋の日」記念日にした理由を教えてください。

普段何気なく通っている橋、一年に一度「橋」や川について、見つめ直す機会にと考えたからです。この時期は、水遊びや花火など橋や川とふれあう季節でもあります。

Q. 宮崎市ではどんな人たちが「橋の日」に取り組んでいるのですか。

会員は現在 40 名おり、会社員や主婦、橋梁メーカーの社員、行政などが参加しています。その他にも紙芝居朗読ボランティアの皆さんも年間を通じて活動しています。活動に興味のある方は事務局またはホームページにてお問合せください。

Q. なぜ、橋橋で「橋の日」イベントを開催しているのですか。

宮崎の街づくりのために橋が必要であると、明治の先覚者、福島邦成が私費を投じて明治 13 年 4 月に初代橋橋が架けられました。現在、橋橋は 6 代目ですが、5 代目の橋橋のお別れ会には 2,000 人の方が参加され、盛大に行われるなど、これまで多くの方に利用され愛された宮崎市を代表する橋と考えたからです。

Q. 宮崎県内には、どれ位の橋がかかっているのですか。

わが国では長さ 2m 以上のものを橋とみなしており、高速道路、国道、県道、そして市町村道になんと 9,400 を超える数の橋（鉄道は除く）が架かっているとされています。

Q. 「橋の日」について、くわしく知りたいのですが…。

「橋の日」ホームページに情報を掲載しています。「橋の日」と検索いただくと、ご覧いただけます。

Q. 橋の不具合や危険個所などを発見した時は、どこへ相談したらいいですか？

お近くの市役所や役場、土木事務所に連絡してください。

宮崎「橋の日」実行委員会について



1985年(昭和60年)湯浅利彦氏が「^は8月4日・^し橋の日」を提唱。翌1986年、全国に先駆けて、第1回延岡「橋の日」が延岡市大瀬川に架かる安賀多橋で開催。翌1987年、宮崎市にて第1回宮崎「橋の日」を大淀川にかかる橘橋にて実施。以来、宮崎「橋の日」実行委員会ではさまざまな活動とともに、全国に向けての広報・啓発を行い「橋の日」の情報発信をおこなってきました。2015年(平成27年)滋賀県大津市の瀬田の唐橋をもって、念願の47都道府県にて「橋の日」が実施されることになりました。

現在、会員数は40名。大田原宣治会長のもと楽しい橋の日行事への準備をしながら、県内全市町村での「橋の日」開催を目標に活動を行っています。

※活動に興味のある方は、事務局までお知らせください。また「橋の日」活動へのご相談や資料の提供、活動の支援などをおこなっています。

2020年(令和2年)現在、県内で「橋の日」を実施している市町村は、宮崎市、都城市・延岡市・日南市・串間市・日向市・高岡町・高千穂町・日之影町・美郷町・西米良村。

「橋の日」の歌 (川・橋・そして人)

作詞：湯浅利彦 作曲：斎藤正浩

- 1 夏の日差しが まぶしくて キラリキラキラ 光る川
あの川 この川 夢の川 やさしい流れ 美しく
住みよいまちを 育てます
まるで あたたかい 母のよう 母のよう
- 2 まちとまちとを 結ぶ橋 人と人との 出会い橋
あの橋 この橋 夢の橋 朝昼夜と たゆまなく
住みよいまちを 育てます
まるで たくましい 父のよう 父のよう
- 3 皆でうたおう 晴れ晴れと 空にとどけよ 地の果ても
あの町 この町 夢のまち 希望に満ちた 人々の
ふれあう心 虹の橋
まるで 素晴らしい 懸け橋ね 懸け橋ね



「橋の日」の歌が
スマホで聞けます。

「橋」にありがとうの気持ちを込めて・・・

「橋の日」ホームページでは、「橋の日」の活動、橋の写真集、橋の広場、宮崎と橋、以上の4つのコーナーからつくられています。

県内の橋を中心に橋にまつわる写真や情報やエピソードなどを掲載し、情報発信をしています。

橋の日

検索



宮崎「橋の日」実行委員会

【事務局】

〒880-0212 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 2574-6
電話：090-9566-4159 FAX：0985-72-2730
HP：http://www.hashinohi.jp
E-mail：hirosongs@dance.ocn.ne.jp

協賛：公益財団法人宮崎県建設技術推進機構

推進機構は宮崎県及び市町村が行う公共事業の円滑で適正な執行を支援するとともに、建設事業の技術水準の向上を図っており、令和2年度で法人設立20周年を迎えました。